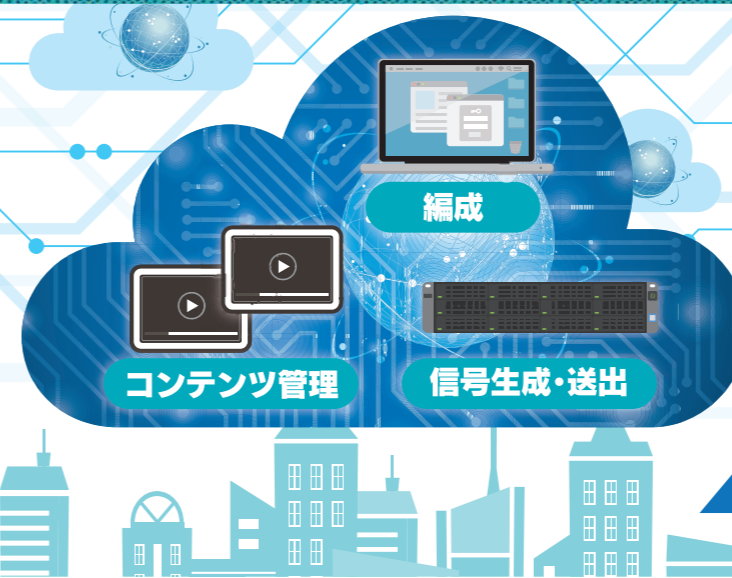


地域を活性化する コミュニティチャンネル クラウドASPサービス

放送運用業務の代行

専用送出システムの提供

技術保守・システム管理負担軽減



全国120局以上のコミュニティチャンネルに、緊急情報を配信し、システムを提供して、運用代行するASPサービス「コミネット」や「マルチ画面ソリューション」を提供しているサテライトコミュニケーションズネットワーク(以下、SCN)が新たに「コミュニティチャンネルクラウドASPサービス」を提案します。

サービス概要

これまで放送局の放送設備は、全て放送局内(ローカル)に設置されてきました。故に、放送に関わることができず、放送局内にはいるスタッフに限られていました。

本サービスは、放送局に代わってSCNが放送運用業務を代行するサービスで、放送局の運用負担を大幅に軽減することができます。SCNの専任スタッフが、リモートで放送局に代わって作業を行います。

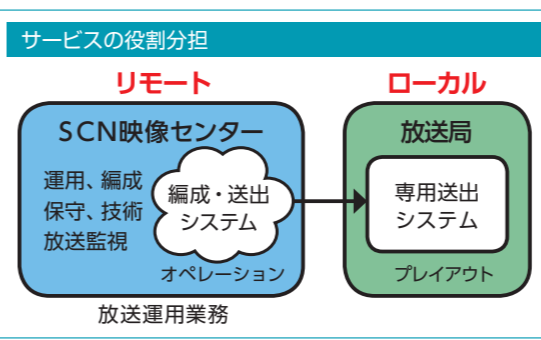
サービス運用する専用の自主放送システムを設計、提供します。放送局のシステムを最小限にしながら、リモート管理に移行します。

サービス内容

- ・ サービスの具体的な内容は、クラウド型の自主放送送出設備の提供
- ・ 自主放送の素材登録、編成スケジュール入力代行
- ・ 緊急情報等の提供
- ・ 放送監視
- ・ リモート保守、技術支援
- ・ 文字放送の作成代行
- ・ 遠隔収録
- ・ 議会遠隔中継
- ・ ライブカメラ運用

これらすべてのサービスをSCN映像センターより提供します。

まず、本サービスの最大の長は、放送運用業務をSCNに委託できる点です。放送に関する業務は、専門性が高く、安全管理が必要、しかも、障害発生時には即時対応、復旧させる技術も必要です。それをSCNが代行するため、人材確保や労働時間の削減というケーブルテレビ局の悩みを解決します。



次に、クラウド型の自主放送送出設備です。SCNがリモートで運用管理できるように設計した専用システムにより、安全な送出を行うことはもちろん、リモートから管理、保守、トラブル対応ができるようになっていきます。ICTを活用した機器を使用することで、放送局側の設備は低コスト、省スペース、省電力になります。

更に、緊急情報や地域情報の表示は、常に最新の情報をSCNから配信し、自動表示します。文字放送もSCNが作成することにより放送局のスタッフの負担を軽減することができます。

万が一、災害で放送局や局員が被災した場合でも、SCNは遠隔から、普段通りの運用を行うことができるので、災害時のBCPを考えるうえでも利点があります。

利用想定

本サービスは、どの局のコミュニティチャンネルも運用可能ですが、よりメリットを享受できるのは、次のような局です。

自治体型CATVや小規模なCATVでは、放送送出設備の更新費用を大幅に抑えることができます。耐用年数や保守期限が切れて運用しているシステムの更新を速やかに実現することができます。自主放送の運用費用、業務負担が大きいという課題も解決できます。少ない人数であつても地域情報をより充実させたという局にも最適です。

次に、第2コミュニティチャンネルの運用にも適しています。本サービスでシステム負担を軽減しながらも、充実した運用サービスで、地域のお知らせや地域防災情報などをタイムリーに提供することができます。例えば、地域のハザードマップを日ごろから表示し続け

るなど、平時からの安心安全情報の提供など様々な防災減災番組への利用も想定されます。

事例紹介

2018年5月に開局した鳥取県日野町では、SCNのコミュニティチャンネルクラウドASPサービス(日野モデル)を運用中です。

基本コンセプトは、「無人放送局」とし、自治体の職員は一切の負担を無くし、SCNが撮影、番組制作、編成、送出、放送確認、保守、技術対応を行っている。現在、日野町の放送専従職員は、0名です。

ニュース取材は、SCNスタッフが日野町内で撮影を行います。日野町の告知、広報番組は、SCN側のスタジオからリモートカメラを使って、リモート収録します。



役場会議室の放送席

同じく町議会中継もSCN側からカメラ操作、話者テロップ挿入などを行うことができます。またIPカメラを有効活用した放送画面レイアウトも送出しています。

日々の番組スケジュールも全てSCNが管理を行っています。役場の要望を踏まえて、制作・編集した番組ファイルを登録し、放送監視をしています。

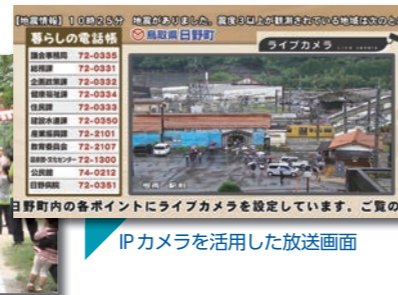
日々発生する火災情報や気象警報・注意報も全て自動化され、発生後即時に放送画面に反映されます。自治体側から発信する情報は、WEBから簡単に登録できるため、熱中症予防などの住民への情報提供に利用されています。

放送は、ケーブルテレビと同時にインターネット配信ネットワーク同時放送されており、スマートフォンやパソコンでケ



SCNの調整卓

ーブルテレビの放送エリア外、自宅外でも視聴可能です。また、停電して自宅のテレビが見えない時にも役立ちます。



IPカメラを活用した放送画面



番組の一例



SCNのスタジオ

今後の可能性

開局1年後に行ったアンケートでは、放送のお陰で地域の話題が増えたなどの高評価を得ています。最小限のコストと効率的な運用で、地域活性化に最大限の効果を出していきたいと考えています。

これからもSCNは、地域情報の可能性を信じ、ケーブルテレビとともに進化していきます。



ネット同時放送

問い合わせ先

(株)サテライト
コミュニケーションズ
ネットワーク

鳥取県米子市新開2-1-7
☎0859-32-6103
担当：CATV事業部 中尾